（様式１）

**日本アルコール・アディクション医学会 柳田知司賞**

日本アルコール・アディクション医学会理事長　殿

下記の研究業績をもって、日本アルコール・アディクション医学会柳田知司賞に推薦致します

**１．受賞候補者**

　氏　　名：

　生年月日：（西暦）　　　　年　　　　月　　　　日　生（応募年度の3月末時点 　　　　歳）

　所属機関および職名：

　学会入会年月日：（西暦）　　　　年　　　　月　　　　日（会員歴　　　　年）

　連絡先

住所

電話番号 Fax番号：

E-mail:

　略歴

**２．研究業績**

|  |  |
| --- | --- |
|  　　　　　　　　　　　　発表年 | 発 　 表　 論 　 文 　 名 ・ 著 　 書 　 名 等以下の記載例にしたがって、原著論文、総説、著書（単行本）、学会発表の順に記載してください。原著論文では査読の有無と、主要論文三編を提示してください。（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。） |
| 20162016201720162010201820142017 | 以下は記載例です**原著論文**Saito T, Higuchi S, Yanagita T et al: The reinforcing efficacy of psychostimulants in rhesus monkeys: the role of pharmacokinetics and pharmacodynamics. J Neurosci 46: 155-162, 2016.（査読 有）藤宮龍也，斎藤利和，柳田知司ほか．SIAM現象へのアルコール代謝関連酵素の関与の検討．日本アルコール・薬物医学会雑誌 20: 189-196, 2016（査読 有）**総 説**Takei Y, Yanagita T: Pathogenesis of alcoholic liver disease. JAMA 17: 54-71, 2017斎藤利和，藤宮龍也，柳田知司ほか：SIAM現象へのアルコール代謝関連酵素の関与の検討．日本アルコール・薬物医学会雑誌 20: 189-196, 2016**著書（単行本）**Ikeda K: The pharmacology of classical hallucinogens and related designer drugs. In Ries RK, Miller SC, Saitz R (Eds): Principles of Addiction Medicine, Fourth Edition, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, pp215-230, 2010岡村智教：高齢者脂質異常症診療ガイドライン2017．斎藤利和，柳田知司編：衛生学・公衆衛生学，中山書店，東京，pp235-256，2018**学会発表**Miyata H: Structure of craving in nicotine addiction. Symposium (Clue to the Next Decade of Nicotine Dependence Research). 16rd International Society of Addiction Medicine Annual Meeting, Yokohama (Japan), 2014, 10, 4.近藤あゆみ，嶋根卓也，松本俊彦ほか：多様化が進む依存症回復支援施設の現状と課題 薬物依存症回復支援施設のDARCと刑務所・保護観察所との連携．第52回日本アルコール・アディクション医学会学術総会，横浜，2017,9,8． |

**３．アディクション領域への貢献度**

**推薦理由（業績の背景、今後の展望を含めて）：**

**推薦学術評議員**　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　　月　　　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　所属

　　　　　　　　　　　　　　　　ご氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印